

Notes on the Distribution of Some Noteworthy Plants in Miumaya, Tsugaru Peninsula, Aomori Prefecture, Japan

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-12-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00056319

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



齊藤信夫*：津軽半島，三厩における 植物分布上の新発見

Nobuo SAITOH* : Notes on the Distribution of Some
Noteworthy Plants in Miumaya, Tsugaru Peninsula,
Aomori Prefecture, Japan

三厩村は津軽半島の突端に位置し、津軽海峡・陸奥湾を挟んで北海道・下北半島に面する人口6300人の村である。この村のほとんどは険しい山岳で占られ、集落は海沿いの限られた平坦地に散在する。海岸線は変化に富み、そのほとんどは磯である。その規模は北方に行くに従って著しくなり、最北端の竜飛岬で落差100mほどの海食崖となる。地質は第三紀産の流紋岩、玄武岩、安山岩やそれ等を混えた凝灰岩が多く、噴出年代は北方に向うにつれ古くなり、竜飛岬で2500万年前を示す。

気象資料はこの村に観測所がないため明らかでない。隣接する今別町の資料を載げる。それをこの村の西部に位置する小泊村と比較すると、その地よりも低温・多雨であることが分る。

この村は明治時代以前からヒノキアスナロの産出による林業とイカ釣りを主とする漁業が主産業とされて来たが、近年、青函トンネル工事が開始されて以来、多くの土木工事が実施されることになり、それ等の工事に従事する人の人口に対する比率が急増した。それに供ない、この村の自然環境は急速に変貌しつつある。

筆者は1973年～1980年にわたり、この村を植物の分布から眺めてきた。その結果若干の新発見を得ることができたので報告する。なおここにはこの村に隣接する今別町での知見も2例付記する。

最後に日頃から多くの指導を賜っている東北女子大学学長石川茂雄博士、同大学助教授斎藤宗勝氏に感謝の意を表します。

標本は各種とも一生育地のもので代表させた。その所在は学名後尾の()に示したが、サカネランについては筆者の手違いでそれを紛失した。国：国立科学博物館，里：金沢大学里見信生，東：東北女子大学，青：青森県立郷土館を意味する。

(1) ウチワゴケ *Gonocormus minutus* (BL.) v. d. BOSCH (青)

1979年4月22日、鍾泊川中流の湿った岩上で確認。新葉のためソーラスは付いていなかった。その後1979年10月28日、袋内川で確認。

(2) オクヤマシダ *Dryopteris amurensis* CHRIST (国)

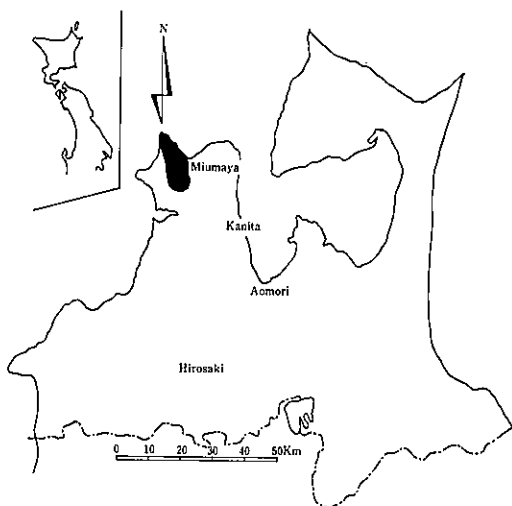


Fig.1. Location of Miumaya in Aomori Prefecture, Honshu

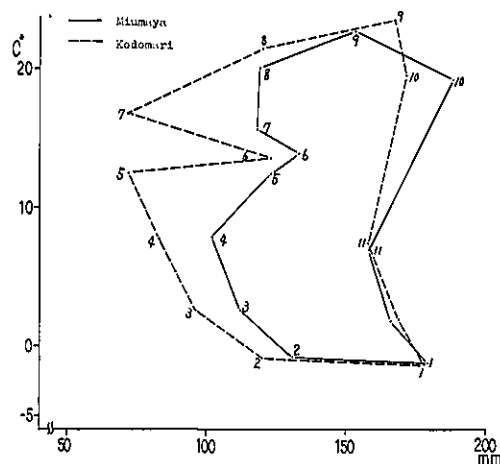


Fig. 2. Climographs of Miumaya and Kodomari, Aomori Prefecture, Honshu

* 〒030-17 青森県東津軽郡蟹田町字上蟹田62-2
62-2, Kamikanita, Kanita-machi, Higashi-trugaru-gun, Aomori Pref.

(2) オクヤマシダ *Dryopteris amurensis* CHRIST. (国)
1973年10月, 増川岳海拔200m 前後のヒノキアスナロ林とサワグルミ林の境界付近で確認。その後, 1976年8月29日, 同山山頂付近のチシマザサ低木林下に群生するのを確認する。未だソーラスを付けた個体は確認していない。

(3) ミツデウラボシ *Crypsinus hastatus* (THUNB.) COPEL. (国)

1979年9月25日, 今別町二股部落の上二股沢中流の露頭で確認。生育するすべての個体が単葉で, 葉身長2~3 cmである。その後, 1979年10月28日, 袋内川で確認。

(4) ヒメサザラン *Loxogramme graminoides* (BAK.) C. CHR. (国)

1979年4月22日, 鍾泊川中流の日陰の巨岩に着生するのを確認。個体長は2~3 cmと小さい。ソーラスを付けたものもあったが, ほとんどは新葉である。その後, 1979年10月28日, 袋内川でも確認する。

(5) イワオモダカ *Pyrrosia tricuspidata* TAGAWA (国)

1973年10月, 増川岳海拔200~300mのサワグルミ林内で確認。その後, 同山へは幾度となく多方向からの登頂を試みるが, 前述の箇所以外は確認できない。

(6) ヒメスギラン *Lycopodium chinense* CHRIST. (青)
矢型石山では以前から知られていた。1979年7月18日, 村内の露頭上でヒメカズラ・エゾヒメクラマゴケ等を生育するのを確認。

(7) スギラン *Lycopodium cryptomerinum* MAXIM. (青)

1975年9月14日, 増川岳西股沢で確認。ブナの樹幹に着生していた。

(8) エゾノヒメクラマゴケ *Selaginella halvetica* (L.) LINK (青)

矢型石山に生育することは知られていたが, 1977年9月15日元宇鉄川, 1979年4月22日・同年6月3日鍾泊川, 1979年11月4日算用師川上流の日陰の岩上でそれぞれ確認する。

(9) クラマゴケ *Selaginella remotifolia* SPRING var. *japonica* (MIQ.) KOIDZ. (青)

1977年9月15日, 元宇鉄川中流の沢沿いで確認。その後, 釜野沢でも確認する。いずれも量的に多い。

(10) オサバグサ *Pteridophyllum racemosum* SIEB. et ZUCC. (東)

県立今別高校生物部, 県立郷土館の方々は算用師峠で確認。筆者は1976年5月16日, 増川岳西股沢沿いの落葉広葉樹林で確認。亜高山帯針葉樹林下に主要分布域を有する本種がより低海拔の落葉広葉樹林下に生育することが興味深い。

(11) エゾイヌナズナ *Draba borealis* DC. (青)

北津軽郡小泊村の日本海に面する露頭に生育することは知られていたが, 1979年6月3日, 鍾泊川で群生を確認する。

(12) イワベンケイ *Sedum rosea* (LINN.) SCOP. (青)
1979年6月3日, 村内の露頭で確認。

(13) ツガルミセバヤ *Sedum tsugaruense* HARA (青)
1973年10月, 増川岳西股沢上流の露頭で確認。その後, 1977年7月10日, 同山南股沢の第二の滝付近の岩盤上に生育するを見る。さらに, 1979年6月3日, 鍾泊川の岩盤上で確認。次いで同年11月4日, 算用師川の一支流倉ノ沢上流で確認した。その結果, 白神山地が主要生育地とされる本種が, 津軽半島先端地域に広く分布することが明らかになる。

(14) シコタンソウ *Saxifraga cherlerioides* D. DON var. *rebunshirensis* (ENGLER et IRMSCH) HARA (青)

1979年6月3日, 村内の露頭上で確認。本種はかつて津軽半島に産するとされながらも確認されずにいた植物で, 三厩村で確認されるまでは白神山地が唯一の産地とされていた。

(15) レンブクソウ *Adoxa moschatellina* LINN. (青)

1979年5月5日, 増川岳西股沢の河畔で群生を確認。同日, 算用師川中流の河畔で確認。いずれの地でもエンレイソウ・エゾエンゴサク・ミヤマスミレなどと混生していた。

(16) キヨスミウツボ *Phacellanthus tubiflorus* SIEB. et ZUCC. (青)

1975年7月23日, 算用師川の一支流御神酒沢から藤島川に抜ける滝沢林道で数個体を確認する。

(17) サカネラン *Neottia papilligera* SCHLTR.

1975年6月7日, 少年自然の道内のスギ林下で一個体確認。その後標本を紛失し, 証拠はリバーサルフィルムだけになってしまった。

(18) チャボトドリ *Orchis chidori* (MAKINO) SCHLTR. var. *curtipes* (OHWI) OHWI (里)

1979年7月8日, 村内の露頭で数個体を確認する。確認時はまだ蕾だったことから鉢植えにし開花させる。

(19) ウチョウラン *Orchis graminifolia* (REICHB. fil.) TANG et WANG (青)

1977年9月18日, 今別町木無岳の海拔500mの露頭で確認。ミヤママンネングサ・イブキジャコウソウ・イワデンダ・エゾノヒメクラマゴケなどとともに生育していた。

(20) ヒトツボクロ *Tipularia japonica* MATSUM. (国)
西津軽郡岩崎村十二湖が北限とされていた植物。1977年7月2日, 義経寺裏の円山公園にて数個体確認する。

Summary

The following twenty species were recorded for the first time from Miumaya areas located in the northern part of Tsugaru Peninsula, Aomori Prefecture, Honshu, Japan.

These species are as follows: *Gonocormus minutus* (BL.) v. d. BOSCH (Hymenophyllaceae), *Dryopteris*

amurensis CHRIST (Aspidiaceae), *Crypsinus hastatus* (THUNB.) COPEL., *Loxogramme grammitoides* (BAKER) C. CHR., *Pyrrosia tricuspidata* TAGAWA (Polypodiaceae), *Lycopodium chinense* CHRIST., *Lycopodium cryptomerinum* MAXIM. (Lycopodiaceae), *Selaginella helvetica* (L.) LINK., *Selaginella remotifolia* SPRING var. *japonica* (MIQ.) KOIDZ. (Selaginellaceae), *Pteridophyllum racemosum* SIEB. et ZUCC. (Papaveraceae), *Draba borealis* DC. (Cruciferae), *Sedum tsugaruense* HARA, *Sedum rosea* (L.)

SCOP. (Crassulaceae), *Saxifraga cherlerioides* D. DON var. *rebunshirensis* (ENGLER et IRMSCH.) HARA (Saxifragaceae), *Adoxa moschatellina* L. (Adoxaceae), *Phacelanthus tubiflorus* SIEB. et ZUCC. (Orobanchaceae), *Neottia papilligera* SCHLTR., *Orchis chidori* (MAKINO) SCHLTR. var. *curtipes* (OHWI) OHWI, *Orchis graminifolia* (REICHB. fil.) TANG et WANG and *Tipularia japonica* MATSUM. (Orchidaceae).

(Received Dec. 2, 1981)

雑 録 (2)

住所変更および訂正 (昭和56年12月～昭和57年5月)

- 安溪 貴子 〒903 那覇市首里赤平町2-66→〒753 山口市湯田温泉6の8の29の403 (中国)
 浜島 繁隆 〒458 名古屋市緑区鳴海町枯木40→〒458 名古屋市緑区浦里2丁目168 (中部)
 本淨 高治 〒921 金沢市平和町1-4-26→〒921 金沢市平和町3-18-15 (中部)
 細井幸兵衛 〒030 青森市新成平岡252の90→〒030 青森市新田字扇田167の4 (東北)
 池田 豪憲 〒895-25 大口市里2670大口高等学校→〒891-21 垂水市田神97 (九州)
 池原 直樹 〒904-11 石川市字伊波328の2→〒904-21 沖縄市字大里481 (沖縄)
 伊藤 信郎 〒780 高知市城北町101→〒108 東京都港区白金台5-20-4-405 (関東)
 鹿児島大学附属図書館→鹿児島大学附属図書館閲覧課雑誌係 (九州)
 小林 純子 〒248 鎌倉市雪の下4-2-23→〒248 鎌倉市雪の下3-9-24黒川ビル202 (関東)
 久保 信一 〒920 金沢市出雲町8街区10→〒920 金沢市出雲町1398 (中部)
 桑原 道衛 〒502 岐阜市栗野東2丁目131→〒502 岐阜市栗野東2の149 (中部)
 松村 敏則 〒731-02 広島市可部町上原754→〒731-02 広島市安佐北区可部町上原754 (中国)
 元吉 健一 〒120 東京都足立区千住4の57→〒120 東京都足立区千住4の10の19 (関東)
 中村 弘樹 〒730 広島市東千田町1の1の89広島大学理学部植物学教室→〒852 長崎市家野町24の27 (九州)
 西村 直樹 〒730 広島市東千田町1の1の89広島大学理学部植物学教室 〒717-05 岡山県真庭郡八束村中福田145の1 (中国)
 萩巣 樹徳 〒533 大阪市東淀川区豊里6丁目28の9の307→〒168 東京都杉並区上高井戸1の30の43松本様方 (関東)
 大場 秀章 〒321-14 日光市花石町1842東京大学理学部附属植物園日光分園→〒277 柏市根戸427の5北柏第2住宅2の203 (関東)
 田崎はるえ 〒311-14 茨城県鹿島郡旭村田崎1104→茂垣はるえ 〒311-41 水戸市大塚町1863-90 (関東)
 鈴木 善雄 〒135 東京都江東区常盤1の5の10→〒273 船橋市金杉5の3の12 (関東)
 小路 登一 〒939-06 富山県入善町上野10344→〒939-06 富山県入善町上野352 (中部)
 田丸 豊生 〒731-02 広島市安佐北区可部町城386-5→〒731-02 広島市安佐北区可部町下町屋915-63 (中国)
 田中 啓幾 〒487 春日井市白山町1859の11タウン石尾台16の1→〒487 春日井市石尾台1-1タウン石尾台16の1 (中部)
 矢原 徹一 〒606 京都市左京区鹿ヶ谷法然院町13山本武雄方→〒280 千葉市弥生町1-170東大西千葉職員宿舎3-201 (関東)
 山田 久雄 〒946 新潟県北魚沼郡小出町県立小出高等学校→〒940-24 新潟県三島郡与板町長丁 (中部)

新 入 会 員

- 昭和56年12月1日 安原 清隆 〒719-03 岡山県浅口郡里庄町2267 (中国)
 昭和57年1月4日 藤澤 浅 〒710 倉敷市中央2丁目20の1岡山大学農業生物研究所 (中国)
 1月26日 武田 清明 〒920 金沢市小將町7-32 (中部)
 2月13日 宮本 太 〒156 東京都世田谷区桜ヶ丘3-29-14 権田方 (関東)
 2月18日 (再入会) 岩井 昭夫 〒427 島田市三ツ合町1128の12 (中部)
 4月2日 寺林 進 〒606 京都市左京区北白川追分町京都大学理学部植物学教室 (近畿)